

記入年月日
平成 30 年 4 月 13 日

事務事業名		筑西幹線道路整備促進期成同盟会参画事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	050303000363
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	060101
政策体系	総合計画の施策名	0503	道路網の整備			主要事業			建設課	
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり			市長マニフェスト				
	施策名	03	道路網の整備			未来PJ事業		グループ	維持管理G	
	手段名	03	③国道・県道の整備促進			合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度のみ		(年度)	
	01	08	01	01	02	00	土木総務事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要

手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	筑西幹線道路は、北関東自動車道と一体となって県西地域と県東地域を結び、人や物の交流を円滑にし、主要都市間の連携や企業立地の促進などを図るうえで、大きな役割を担う広域的な幹線道路である。この整備促進を図るため、関連する市町村が連携し筑西幹線道路整備促進期成同盟会として、関係当局への要望や折衝などの働きかけを行う。	要望活動、総会への参加

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
1. 関係当局への要望及び折衝。 2. 関係市町村との緊密な連絡。	総会への参加者		27.00	27.00	27.00	27.00	27.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
期成同盟会構成市町村	構成団体数		5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
県西の拠点都市を経由する広域的な幹線道路を整備することにより、近県内陸部と水戸方面を結ぶ道路交通ネットワークが形成され、新たな物流体系が構築されます。	総会実施回数		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(2) 投入量(車掌費)の推移

(3) 投入量（事業費）の推移				(実績)	(実績)	(計画)		総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	10	10	10	0
		事業費計（A）	千円	10	10	10	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		
		述べ業務時間	時間	29.00	38.00	25.00		
		人件費計（B）	千円	85	111	73		
トータルコスト(A)+(B)			千円	95	121	83		

29年度事業費 実績 (千円)

30年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	19 負担金補助及び交付金	10						
			合 計	10			合 計	10

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容

31年度の事業内容

32年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	筑西幹線道路整備促進期成同盟会参画事業	事務事業No.	50303000363	所属課	建設課
-------	---------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

筑西幹線道路の整備、促進を図ることを目的として事業開始。（H13.5.31）

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

国道50号4車線化の促進

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	①結びついている	財源の確保などを目的とした県、国への働きかけにより道路整備促進を図ることとなり結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	②妥当である	筑西幹線道路に関係する市で組織する協議会なので参画することは妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	③向上余地がない	道路の必要性・整備状況の実態を切実に訴えていく要望活動は欠かせないが、財政事情により現時点では向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	④影響有	整備促進が遅滞する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	⑤余地がない	協議会・同盟会の目的事業に類似するものはあるが構成組織が異なる。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	⑥削減余地がない	定額負担金により運営されている組織であり削減は難しい。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	⑦公正・公平である	協議会・同盟会の参画であり受益者負担になじまない。
公平性			

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性	■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒ 筑西幹線道路整備促進期成同盟会に参画することにより、国道50号線の4車線化、インター周辺の整備につながる。																								
②有効性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
③効率性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
④公平性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 目的の再設定 ☐ 有効性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 効率性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 連携ができる		<table><tr><td colspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td colspan="2"></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>✕</td></tr><tr><td>低下</td><td>✕</td><td>✕</td><td>✕</td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	✕	低下	✕	✕	✕
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	✕																						
	低下	✕	✕	✕																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 A: 継続（現状維持） B: 継続（改革改善を行う） C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	確認欄